

D2660

東大阪東ロータリークラブ



HIGASHIOSAKA-EAST ROTARY CLUB

ロータリー：
変化をもたらす

Club Weekly Report 2017-9-28・10-5 合併号 No.2539・2540

創立：昭和40(1965)年3月4日

『ロータリアンとしての優しさを大切にしクラブを愛する心をもとう』

例会場：ホテルセイリユウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：田中 哲男 / 幹事：大塚 俊彦 / 会報資料担当：梶本 高久

今日の例会

- 卓話
「世界の人々との出会いで
1985年度バンコックヤンナワRC
と結成に至る」
出口 和義 君

- 今日の歌
「君が代」
「四つのテスト」

- 例会前 10月度定例理事会

来週の例会予定

- 10月12日(木) 休会
10月19日(木)
卓話 石川 亨 君

10月は
経済と地域社会の発展月間・
米山月間 です

先週の出席報告(9/28)

先週(9/28)の出席者数：41名(5)名
ゲスト3名：東大阪市教育委員会
菅原 章太 様
東大阪市ラグビーワールドカップ2019
推進室 千田 拓也 様
谷口 哲也 様

9/28 HC出席率：78.85%

※()内数字は出席免除会員の出席者数

会員：61名(免除14名)

	9/7	9/14	9/21
HC出席	38(3)名	44(4)名	公休
MU出席	6(1)名	3(1)名	
修正出席率	86.27%	90.38%	

会長の時間

田中 会長

本日は皆さん久しぶりの通常例会です。先月9月には今年度行事のなかでもメインイベントとなるガバナー公式訪問と東輪会合同例会の主催クラブ役という極めて重要な役割がありました。私と致しましては大成功だったと思います。これもひとえに会員の皆さまの心が一つとなり、クラブを愛する心を発揮していただいた事に尽きると思っております。

片山ガバナー様や東輪会の当日ご参加いただいた他のクラブの方々にも我がクラブの会員の皆さまの纏まりとその素晴らしい集中力を感じていただけたのではないかと思います。本当に皆さま有り難うございました。

今月は東輪会ゴルフコンペを10月17日に、奈良柳生CCに於いてホスト役をする予定があります。現在のところ約16名の参加を我がクラブからは確認できております。もう少しご参加していただければ有り難いのですが、未定の皆さまの更なる参加ご連絡宜しくお願い致します。出来るだけ多くの参加者で活気のある楽しい、親睦ゴルフコンペにしたいと思っています。

クラブ対抗戦、個人戦、NP/DC等の色々な表彰があります、そしてその準備、手配、スコア集計そして朝一番の受付、ご来場される皆さまへの welcome smile なども、親睦委員会の皆さまには何卒宜しくお願い致します。

さて、10月は「経済と地域社会の発展月間/米山月間」そして11月にはロータリー財団月間です。クラブ単位で出来る事は限られているかもしれませんが、それぞれの月間のイベント等については地区事務所よりの情報に基づいて各々委員会委員長よりの御案内・情報によく耳を傾けて協力していかなければならないと考えております。

すでに8月の「会員増強・新クラブ結成推進月間」においては、吉崎委員長より会員増強プランが示され、来る10月26日にはオ・セイリユウにて友人紹介例会が予定されております。

今からでも遅くはありません。出来るだけ多くの可能性のあるお知り合い、友人の皆様をお連れ下さるよう御協力の程をお願い申し上げます。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリユウ 302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

大塚幹事

先般の東輪会合同例会、大変お疲れ様でございました。ご協力いただき有難うございました。

《これからの予定》

- 【1】 本日、例会前、10月度定例理事会、例会後第2回指名委員会
- 【2】 10/7（土）～9（祝・月）秋のRYLAセミナー（溝畑地区学友委員長出席）
- 【3】 10/12（木）休会
- 【4】 10/15（日）米山奨学生レクリエーション
- 【5】 10/17（火）東輪会ゴルフコンペ

＜連絡事項＞

- 【1】 10/26（木）は友人紹介例会です。場所はオ・セイリュウにて夜間移動例会です。ご友人をお誘いあわせの上、多数のご参加をお願い致します。

委員会報告

◎R財団委員会

井上委員長

この度、天野会員にマルチプル3回目を、一由会員にポール・ハリス・フェローをお引き受け下さいました。また、川口会員、田原会員、表会員、吉川会員、田中（哲）会員、水上会員、西森会員、森本会員にご協力いただきました。有難うございました。10月のレートは112円です。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

◎青少年奉仕委員会

岡田米山奨学担当

この度、川口会員にご協力いただきました。有難うございました。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

米山奨学生レポート

施 志宇

テーマ：これまでの奨学生の生活で得たものや、日本留

学の成果などについて

ロータリーの奨学生になって、あっという間に半年が経ちました。本当に夢のような半年でした。

ロータリーの奨学生の皆さんと比べて、私が日本に留学で来た時間はとても短かったです。しかし、この半年の時間は、今までの人生で一番有意義の時間でした。日本に留学で来て、ロータリーの奨学生になって、今のクラブの皆さまに会えて、本当に嬉しくて、ありがたいと思います。

クラブの皆さんも、奨学生の皆さんも、私にとって、先輩のような、師のような存在です。皆さんが様々なことを教えてくれました。様々な文化の違いも見つかりました。例えば、日本のどこでも強調されているチームワークです。

今年の五月、春のライラのイベントに参加させていただきました。それはリーダシップをテーマとして、行われたイベントでした。そこで、様々な問題を解けるため、皆が力を合わせて、難関を乗り越えます。そういう形のイベントは中国であまりなかったです。これも社会文化の違いの一つだと思います。中国人が自分自身の個人能力が一番大切なものだと思うのに対して、日本人にとって、グループ内のチームワークこそ、なにより大切なものです。

これは、文化の違いというより、教育の違いだと思います。

日本で、チームにとって、最も重要な物は仲間の気持ち、空気というものです。それに、中国で、一番大切な物は仲間より、合理性と効率です。簡単な例です。日本の会社で、もし誰かの仕事はまだ終わらないなら、皆が残って手伝います。すなわち残業という日本のサラマンが一番嫌いなものです。

中国なら、仕事はチーム内の一人一人にきちんと分けて、自分は自分だけの仕事をすればいいです。だから、日本で、会社の中国人の社員は残業をせず、勝手に帰るとかのことはよく聞きます。それは、文化の違いです。

日本にいる一年間、様々なことを見ました。いい勉強になることもたくさんありました。これからももっと勉強したいです。

片山ガバナー公式訪問

2017年9月14日（木）



東輪会合同例会

2017年9月28日

(木)

於：シェラトン都ホテル大

阪



第1回IM(情報集会) 第1班 報告

リーダー 斉藤 勝俊
サブリーダー 須崎 洋一(文責)

日時 2017年9月15日(金)
場所 和牛料理 要
出席者 表 奥林 溝畑 天野 広田 井戸田
田中 島 斎藤 須崎

内容 我が班では主に例会について話し合いました

① 例会の回数について

- イ 例会は毎週おこなうべきだ。
生活のリズムがそのようになっている。
- ロ 現役で仕事をしている物にとっては月2回くらいの休みがほしい
- ハ 昼例会と夜例会を半分づつがいい
- ニ 本年度は平均月3回となっているが、これは試験的なものであり
次年度は皆さんの意見を聞いて対応すればいい。

② 例会場について

- イ ロータリーはもともと各地域ごとに
あるものであり地域密着という意味
では地元の石切セイリュウのまがいい。
- ロ 増強やホテルの評判から考えると大
阪市内の例えばシェラトンのほうがいい。
- ハ いつまでも「河内のおっさん」のクラ
ブである必要がなく時代とともに変
化していくべきだ。
- ニ R Iの「地域」の考え方も広がってき
ておりいつまでも東大阪東にこだわ
る必要はないのではないかと

③ その他

ロータリーのライオンズ化
例会の回数も減りアイサーブの理念
から、ウイサーブで団体で形にみえる
奉仕を重視する傾向にあるが、これ
ではライオンズとの違いがなくなっ
てきている。これは由々しいことだ。

第1回IM(情報集会) 第4班 報告

日時：平成29年9月6日(水) 18:30～20:30

場所：駒すし

出席者：合計9名

田中会長、大塚幹事、表研修委員長
水谷弘道、岡田耕治、西森昭博、山本行伸
リーダー：吉川宏 サブリーダー：北川忠嗣

テーマ「中長期のアンケートを踏まえて、例会を考
える」について、田中会長、表研修委員長の挨拶の後、
先般のアンケート結果が配布され、忌憚のない意見で
進められた。

【会員意見】

- ①40名の会員からの回答ということだが、もう少し多
くの会員の回答があってもよかったのではないかと
思われる。
- ②例会出席を上げる努力が必要、また外部関連行事を
見直す必要がある。
- ③例会の回数を減らす必要はない。出席回数補填のた

めだけではなく、他のクラブの勉強のためにもメーキヤップに行く必要がある。希望者を集めて一緒に行くこと、それが奉仕にまた繋がると思われる。

④例会回数が減るとニコニコの実績（目標 300 万円）に影響があるので、会長・幹事には考えて欲しい。

⑤例会回数よりも例会内容の充実が大切、危機管理の意義を高める必要がある。

⑥月 1 回の夜間例会が必要と考える。

⑦中長期計画委員会における奉仕活動の見直しの意見は、まとめて理事会へ提出する機会を持って欲しい。

⑧食事内容は今程度で仕方ないと思うが、駐車場の確保については、ホテル側に配慮を充分にお願いしたい。

⑨わがクラブは、年会費の割にはクラブの個人負担率（親睦行事等）は高いと思われる。

【まとめ】

ロータリー本来の職業奉仕に重点を置いた、ロータリーならではの味わいを大切にしたい例会にして行く努力が必要、またそれを期待する。

以上

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること：
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること：
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること：
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。